7月29日（水曜日）「祝福、のろい、祝福」

【新改訳 2017】

マラキ書　2•1ー17

「もし、あなたが聞き入れず、もし、わたしの名に栄光を帰することを心に留めないなら、一万軍の主は仰せられる―わたしは、あなたがたの中にのろいを送り、あなたがたへの祝福をのろいに変える。・・・・・」（2節）

何回目になることでしょう。主はここでも、神の祝福の条件を明確に示し、それが守られない時に祝福は失われ、のろいがくだされると警告されています。

祭司たちが、そして民が、神の律法を聞き入れず、また主の御名に栄光を帰さない時に、そのことが起こるのです。旧約の時代は、この点は明確であったことは先に学びました（申命28 章参照）。

しかし、新約下の信仰者たちはなんと幸いなことでしょう。こののろいはイエス•キリストの十字架刑によって取り除かれました。キリストは私たちを律法ののろいから贖い出してくださったのです（ガラテヤ 3•13 参照）。感謝！それだけに、主と主の

みことばに従って歩まないならば、はたして、どうなることでしょうか（ヘブル 2•3、4参照）。

～祈り～

主よ。今、御子の十字架の贖いのゆえに、あなたののろいは取り除かれ、信仰によって祝福にあずからせていただけることを心から感謝します。

【学びのために】

マラキ書について:BC440 年前後のころ、預言者マラキによって語られたもの。旧約聖書最後の書。対話形式が特徴の一つ。（参考区分）1•1表題、1•2－5イスラエルに対する神の愛、1•6－3•18イスラエルに悔い改めの勧め、4•1－3さばきと救い、4•4－6結び。